

<ニュースレター>



祈りの像
中村美津子 作

東方学院仏像彫刻・宗教画講座
第10回研究会員作品展

2011年7月11日(月)～17日(日)
インド大使館 地下ギャラリーにて開催

2011年7月
財団法人東方研究会・東方学院

財団法人東方研究会・東方学院では、実技講部門である仏像彫刻講座・宗教画講座を開講し、今年25年目を迎えました。当講座では隔年で研究会員作品展を開催し、本年第10回を迎えます(入場無料)。インド大使館の地下ギャラリーを会場に、7月11日(月)～17日(日)の期間、約80点の仏像彫刻・宗教画を展示します。どなたでも入場できるオープニングセレモニーにはインド大使も出席します。普段は入館が困難なインド大使館の見学を兼ね、市井の人々の祈りのかたちに触れてみてはいかがでしょうか。

当講座の初代講師 西村公朝(仏師・僧侶、1915～2003)は、その初講義において、あなたも仏・あなたが仏「土も仏・木も仏・私も仏・そしてあなたも仏。ですからあなたが心を込めて作った仏像はたとえ技術が拙くとも、又、上手・下手に関係なくあなたの仏さまなんだよ。」と話しました。



会場風景

- すべての自然物の中には、それぞれの仏がおられる、その姿を探求すること
- どういうお姿をされているか、それを楽しみながら彫り出して来る
- 仏像は、如来・菩薩・明王・天部の4種類にわけられ、いずれも「慈悲」を表わしておられるが、如来は「慈」の厳しい愛情、菩薩は「悲」のやさしい愛情、明王は衆生を救う「必死」の形、天部は仏を邪魔するものと戦う形を表わしていると。

研究会員は、創作の対象となる自然の素材に正面から向き合い、つつましく、こつこつと、楽しみながら彫り続けています。ある会員は、「それぞれの仏様が木の中から出てきて戴いたと感謝しています」と仏像を彫る楽しさを言葉にしています。ひとつひとつの作品に、それぞれの仏への思慕が表現されているようです。ぜひ、この機会にご高覧賜りたくご案内申し上げます。

【開催概要】

東方学院仏像彫刻・宗教画講座
第10回研究会員作品展

日 時：2011年7月11日（月）～17日（日）午前10：30～午後6：00
（初日は午後30に開場、最終日は午後4：30まで）

※オープニングセレモニーは7月11日10時30分に行います。

＜次第＞ ご挨拶 前田専學学東方研究会理事長：アロック・プラサード駐日インド大使
開会式 インド式点火式（アロック・プラサード駐日大使、前田専學理事長
西山多寿子、小田谷史弥、菅沼荘二郎）

場 所：インド大使館 地下ギャラリー 東京都千代田区九段南2-2-11（千鳥ヶ淵）



※会場には駐車場のご用意はありません

主 催：東方学院仏像彫刻講座・宗教画講座研究会員
後 援：インド大使館、財団法人東方研究会・東方学院
展覧数：約80点（講師作品含む）

＜指導講師＞

西山 多寿子（女子美術大学講師）
小田谷 史弥（修復工房東京文化財修復所主宰・仏像彫刻家）
菅沼 荘二郎（菅沼アトリ工主宰・画家＜現代絵画＞）

※財団法人東方研究会・東方学院は哲学者、宗教学者であった中村元（1912～1999）
によって創立され、広く東洋の文化・思想の普及につとめる活動をしています。
（財団の概要についてはホームページ <http://www.toho.or.jp> をご参照ください）

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

財団法人東方研究会・東方学院 事務局
TEL. 03 (3251) 4081 / FAX. 03 (3251) 4082 / E-mail :
gakuin@toho.or.jp
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2 共和ホームズ4階

※お手数ですが、ご取材（講座見学・体験含む）・ご掲載を賜ります際にはご一報ください。